

2025年10月16日(木) 14:30~17:00

2025/10/14 rev.0

(於) 国立オリンピック記念青少年総合センター

# 第25回 SNWシンポジウム

## 「長期的な視点に立った骨太の エネルギー基盤を確立せよ！」

### 第2部 パネル討論

#### 「中長期のエネルギー政策は 如何にあるべきか？」

# 現状認識； 日本の将来は難題だらけ

- 地球温暖化抑止には2050年までに**炭素中立**が必要とされるが
  - ◇ 実際にはその道のりは**容易でない**(日本も、世界も)
    - **中露印**などは2050年様子見、巨額の経済支援を条件とする**開発途上国**
  - ◇ 温暖化の程度、人為的CO<sub>2</sub>排出主因説には、疑問も呈されている
- **国際紛争**の危機に対し日本の**安全保障**が重要
  - ◇ 太平洋西端で周辺は**リスクが一杯**(中国/台湾・尖閣・北朝鮮・竹島・北方領土)
  - ◇ 非核3原則；持たず・作らず・**「持ち込ませず」**のままで良いか
    - **「撃ち込ませず」**の具体策が必要(圧倒的で高度な通常戦力と核武装艦船の寄港)
- **国民生活と産業・社会を維持**するには**経済の安全保障**が重要
  - ◇ 資源の乏しい日本の**エネルギー自給率**の向上
  - ◇ **加工貿易**で生きる日本の輸出の維持と輸入の減少(円安に留意)
  - ◇ 農業・水産業の衰退に対し、食料調達の維持・**食料自給率**の向上
  - ◇ **少子化・人口減少・労働力不足**での社会・経済維持(ロボット・外国人就労!?)
  - ◇ **少子化・高齢化社会**における社会福祉の維持
  - ◇ **理科教育**の充実、先端技術の**研究開発**の維持

# パネル討論のテーマ

## ■ 確立すべき「**長期的視点に立った骨太のエネルギー基盤**」、またあるべき「**中長期のエネルギー政策**」とはどのようなものか？

◇ 経済規模に比べ国内資源の乏しい我が国にとって、激動する世界経済の変化に影響されにくく、極東にある地政学的リスクへの耐力が強く、かつ地球温暖化抑止にも寄与しつつ、長期に安定・安価かつ需要の変化に柔軟に応じられる強固なエネルギー供給構造と、それを保証するエネルギー政策

◇ その重要な要素の一つであり、我が国のエネルギードミナンスに貢献し得るのが**原子力の最大限活用**であり、その安全な利用（1F事故のような失敗は二度と許されない）は当然として、原子力の最大限活用を**実現するための具体策を提示**し、それを実行して行くことが大切ではないか

その具体策は、本日のちほど、例示

## ■ 「**確立せよ！**」とは**誰に**向けて言っているのか？

◇ 次の3者と認識；

- ① 国（原子力政策、政府と国会）
- ② 原子力関係者（産業界と学会）
- ③ 国民（理解し協力が必要なステークホルダー）

# パネル討論参加者

(敬称略)

- 野村浩二； 慶應義塾大学 産業研究所所長 教授  
「空洞化を招く脱炭素政策と日本の産業再生の課題」
- 荻本和彦； 東京大学 生産技術研究所 特任教授  
「需給動向と3Eからみたエネルギー一部門脱炭素化の課題と展望」
- 富澤新太郎； 東京大学 医学部3年  
「若者視点でのエネルギー将来ビジョンの提案」
- モデレータ； 田中治邦(SNW、元東電、元日本原燃)

# 5つの論点

---

- (1) **周辺情勢**について(確認)
- (2) **脱炭素**に対する原子力関係者のスタンスはどうあるべきか？
- (3) 原子力の**経済性**は確保できるか？
- (4) 将来の**原発依存度**の目標は？
- (5) 「骨太のエネルギー基盤」を確立するために原子力の最大限活用を図る**具体策**とは？